



2018

JA東京あおばレポート



平成29年4月1日～平成30年3月31日
事業概要のご案内



ごあいさつ

組合員の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
平素よりJ A各事業に対する格別なご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

平成29年度は、4月に改正生産緑地法が成立するなど、都市農地の有する多面的機能への期待の高まりとともに、保全に向けた動きが高まりました。一方で、政府が定めた農協改革集中推進期間の期限が来年の5月に迫るなど、J Aを取り巻く環境はより一層厳しさを増しています。

このようななか、J A東京あおばでは、第7次中期経営計画の2年目として自己改革に努め、また組合員ならびに地域の皆さまの厚い信頼を頂戴し、今年も出資配当・事業分量配当をお支払いできる決算報告ができましたことに、衷心より感謝申し上げます。

平成30年度は、第7次中期経営計画（平成28年度～平成30年度）『創造・改革・挑戦～耕そう、大地と地域のみらい～』の最終年度です。J A東京あおばが10年後、20年後も元気であり続けるために、引き続き自己改革に努め、組合員ならびに地域の皆さまにご信頼、ご愛顧いただけるよう役職員一丸となって邁進してまいりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



東京あおば農業協同組合
代表理事組合長 榎本高一

経営理念

わたしたちは、農業の豊かさ、人の和を大切に、地域になくてはならない存在をめざします。

ビジョン

わたしたちJ Aは、くらしのサポーターNo. 1を宣言します。

使命

- 1 都市農業を守る
- 2 組合員のくらしを豊かにする
- 3 地域の活性化に貢献する

価値観

わたしたちは、「4つの満足(4S)の向上」を、事業活動を展開するうえでの共通の価値観とし、経営理念の実現をめざします。

組合員満足 (MS)

組合員が、J Aへの積極的な参加・参画によって協同の成果を実現し、都市農業の振興をはじめ、それぞれの願いが充たされること

組織満足 (SS)

組織が健全に経営され、信頼されるJ Aとして、地域になくてはならない存在であり続けること



地域満足 (AS)

J Aが、協同の輪を地域に広げ、地域の活性化・持続的発展に貢献することにより、地域の皆さまのくらしが豊かになること

職員満足 (ES)

職員が、働くよろこび、仕事のやりがいを通じて成長し、心を高められる職場であること

[注] 本レポート中の金額は、単位未満を切り捨て表示していますので、合計額と合致しない場合があります。
なお、単位未満の端数がある場合は「0」で表示しています。

1 プロフィール

創 立

平成9年4月1日、ＪＡ板橋・練馬・石神井・大泉の４ＪＡが合併し、「新しい青葉若葉が成長し、やがて生い茂り見事な大木となるように」「東京にいつまでも木々の青葉や緑を残したい」という願いを込めて『ＪＡ東京あおば』が誕生しました。

本店所在地

東京都練馬区高松 5-23-27

地 区

板橋区・北区・豊島区・練馬区

農 業

キャベツを基幹作物として、ダイコンやブロッコリーなど多品目が栽培されており、花卉・果樹・植木・盆栽なども生産されています。また、伝統作物の復活栽培にも取り組んでいます。

出 資 金*

22 億 6,468 万円

役 職 員 数*

役員 34 人 職員 362 人
(3 月末退職者を除く)

組 合 員 数*

30,580 人
(正組合員 2,718 人 准組合員 27,862 人)

子 会 社

1 社 (東京協同サービス株式会社)

※数値は、平成 30 年 3 月 31 日現在のものです。

2 第21回 通常総代会

と き 平成30年6月26日(火)

ところ 練馬文化センター

(1) 決議事項

- 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告及び第 21 期剰余金処分案の承認について
- 第 2 号議案 平成 30 年度事業計画設定について
- 第 3 号議案 定款の一部変更について
- 第 4 号議案 定款附属書役員選任規程の一部変更について
- 第 5 号議案 規約の一部変更について
- 第 6 号議案 監事監査規程の全部改正について
- 第 7 号議案 信用事業規程の一部変更について
- 第 8 号議案 平成 30 年度理事及び監事の報酬等の額の決定について
- 第 9 号議案 役員退職慰労金の支給について

※上記の決議事項はすべて承認されました。

(2) 剰余金処分計算書

科 目	金 額
1. 当期末処分剰余金	21 億 6,370 万円
2. 剰余金処分額	11 億 9,631 万円
(1) 任意積立金	8 億 725 万円
事業基盤強化積立金	4 億円
都市農業振興積立金	1 億 879 万円
教育文化活動積立金	1 億 143 万円
税効果会計調整積立金	4,702 万円
特別積立金	1 億 5,000 万円
(2) 出資配当金	6,681 万円
(3) 事業分量配当金	3 億 2,223 万円
3. 次期繰越剰余金	9 億 6,739 万円

※ 1 出資配当は年3.0%の割合です。

※ 2 事業分量配当の基準は以下のとおりです。

(1) 当座性貯金の平均残高に対し、年0.05%の割合です。ただし、決済用貯金は除きます。

(2) 定期性貯金の平均残高に対し、年0.10%の割合です。ただし、特別金利適用分は除きます。

(3) 貸出金の受取利息に対し、年5.0%の割合です。ただし、貸出金利 年1.40%未満は除きます。

※ 3 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用に充てるための繰越額4,800万円が含まれています。

(3) 貸借対照表

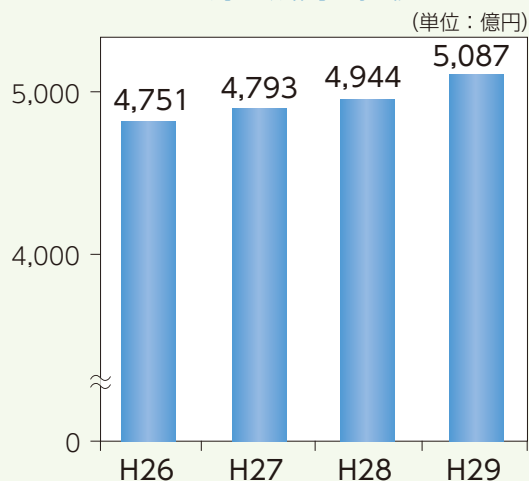
平成 30 年 3 月 31 日現在		(単位：百万円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
1 信用事業資産	527,707	1 信用事業負債	508,972
(1) 現金	3,296	(1) 貯金	508,792
(2) 預金	367,205	(2) その他の信用事業負債	179
系統預金	367,205	未払費用	64
(3) 有価証券	7,973	その他の負債	114
国債	1,080	2 共済事業負債	1,525
地方債	2,016	(1) 共済借入金	282
受益証券	4,876	(2) 共済資金	839
(4) 貸出金	149,649	(3) 共済未払利息	3
(5) その他の信用事業資産	1,125	(4) 未経過共済付加収入	388
未収収益	291	(5) その他の共済事業負債	10
その他の資産	834	3 経済事業負債	61
(6) 貸倒引当金	△1,542	(1) 経済事業未払金	53
2 共済事業資産	303	(2) その他の経済事業負債	7
(1) 共済貸付金	283	4 雑負債	1,578
(2) 共済未収利息	3	(1) 未払法人税等	224
(3) その他の共済事業資産	17	(2) 資産除去債務	155
(4) 貸倒引当金	△0	(3) その他の負債	1,198
3 経済事業資産	67	5 諸引当金	2,043
(1) 経済事業未収金	32	(1) 賞与引当金	161
(2) 棚卸資産	24	(2) 退職給付引当金	1,383
購買品	18	(3) 役員退職慰労引当金	62
その他の棚卸資産	6	(4) 特例業務負担金引当金	435
(3) その他の経済事業資産	10	負債の部合計	514,181
(4) 貸倒引当金	△0	(純資産の部)	
4 雑資産	2,479	1 組合員資本	35,227
5 固定資産	6,400	(1) 出資金	2,264
(1) 有形固定資産	6,369	(2) 資本準備金	6
建物	5,478	(3) 利益剰余金	32,978
機械装置	19	利益準備金	5,354
土地	3,369	その他利益剰余金	27,623
その他の有形固定資産	1,165	事業基盤強化積立金	4,293
減価償却累計額	△3,664	都市農業振興積立金	400
(2) 無形固定資産	31	教育文化活動積立金	510
		税効果会計調整積立金	646
6 外部出資	11,803	特別積立金	19,610
(1) 外部出資	11,803	当期末処分剰余金	2,163
系統出資	11,303	(うち当期剰余金)	(955)
系統外出資	450	(4) 処分未済持分	△22
子会社等出資	50	2 評価・換算差額等	29
7 繰延税金資産	676	(1) その他有価証券評価差額金	29
資産の部合計	549,439	純資産の部合計	35,257
		負債及び純資産の部合計	549,439

(4) 損益計算書

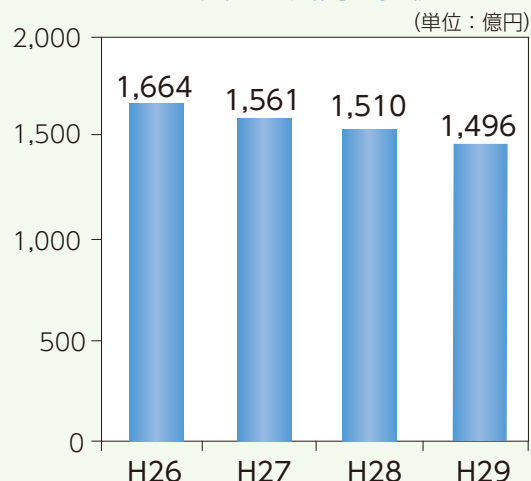
平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日		(単位：百万円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 事業総利益	5,211	(9) 利用事業収益	135
(1) 信用事業収益	4,510	(10) 利用事業費用	119
資金運用収益	4,381	利用事業総利益	15
(うち預金利息)	(1,747)	(11) 宅地等供給事業収益	1
(うち有価証券利息)	(50)	宅地等供給事業総利益	1
(うち貸出金利息)	(2,099)	(12) 旅行事業収益	11
(うちその他受入利息)	(484)	(13) 旅行事業費用	4
役務取引等収益	77	旅行事業総利益	7
その他経常収益	51	(14) 福祉事業収益	0
(2) 信用事業費用	396	(15) 福祉事業費用	0
資金調達費用	142	福祉事業総損失	0
(うち貯金利息)	(141)	(16) 指導事業収入	6
(うち給付補填備金繰入)	(1)	(17) 指導事業支出	65
(うちその他支払利息)	(0)	指導事業収支差額	△59
役務取引等費用	16	2 事業管理費	4,404
その他経常費用	237	(1) 人件費	2,901
(うち貸倒引当金戻入益)	(△89)	(2) 業務費	638
信用事業総利益	4,113	(3) 諸税負担金	289
(3) 共済事業収益	1,064	(4) 施設費	559
共済付加収入	974	(5) その他事業管理費	15
共済貸付金利息	7	事業利益	806
その他の収益	82	3 事業外収益	315
(4) 共済事業費用	49	(1) 受取出資配当金	253
共済借入金利息	7	(2) 賃賃料	4
共済推進費	27	(3) 償却債権取立益	24
共済保全費	1	(4) 雑収入	32
その他の費用	13	4 事業外費用	25
(うち貸倒引当金戻入益)	(△0)	(1) 支払雑利息	22
共済事業総利益	1,014	(2) 寄付金	1
(5) 購買事業収益	408	(3) 雑損失	1
購買品供給高	394	経常利益	1,096
購買手数料	9	5 特別利益	300
その他の収益	4	(1) 固定資産処分益	300
(6) 購買事業費用	355	6 特別損失	188
購買品供給原価	340	(1) 固定資産処分損	56
その他の費用	14	(2) 資産除去債務特別損失	131
(うち貸倒引当金戻入益)	(△0)	税引前当期利益	1,209
購買事業総利益	52	法人税・住民税及び事業税	295
(7) 販売事業収益	159	法人税等調整額	△41
販売品販売高	108	法人税等合計	253
販売手数料	43	当期剰余金	955
その他の収益	8	当期首繰越剰余金	980
(8) 販売事業費用	93	事業基盤強化積立金取崩額	49
販売品販売原価	82	教育文化活動積立金取崩額	28
その他の費用	11	合併記念事業積立金取崩額	150
販売事業総利益	66	当期末処分剰余金	2,163

(5) 主な事業実績

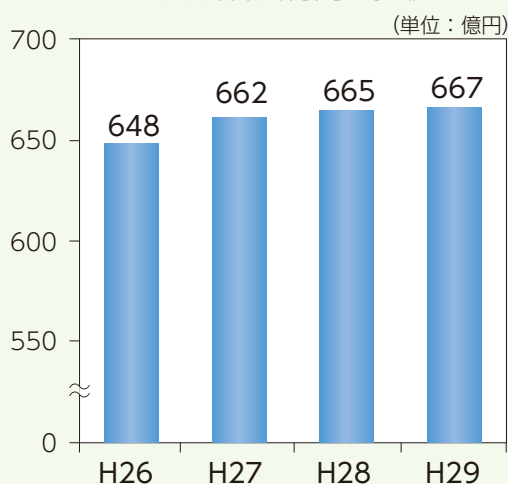
貯金残高の推移



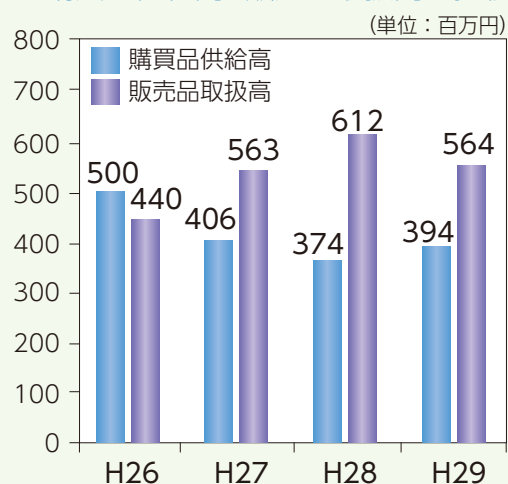
貸出金残高の推移



共済新契約高の推移



購買品供給高・販売品取扱高の推移



(注) 平成27年度より米等の販売は、買取購買品取扱実績から買取販売品取扱実績に変更となりました。

(6) 単体自己資本比率

17.97%

(平成30年3月31日現在)

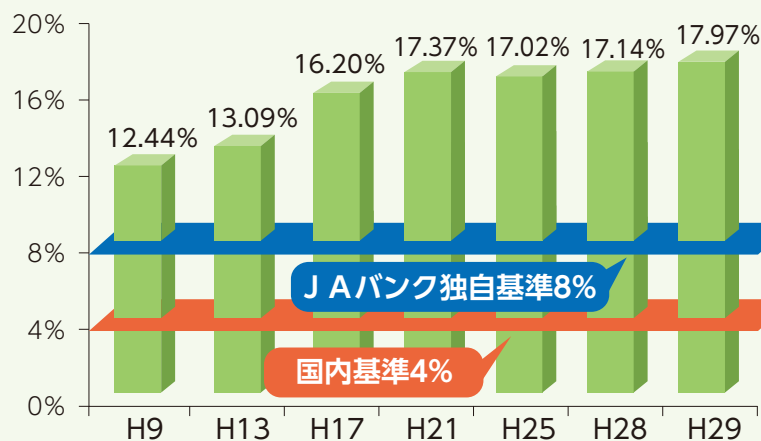
J Aバンク独自基準 8%

国内基準4%に対して、国際統一基準である8%をJ Aバンク独自基準として定め、健全性を高めています。

国内基準 4%

海外営業拠点を有しない銀行の自己資本比率基準は4%以上とするものです。

単体自己資本比率の推移



第1四半期(4月～6月)



春の植木市

4月22日～23日



夏野菜苗の即売会

4月29日～



生産部会員との座談会

5月15日～25日

第2四半期(7月～9月)



家の光クッキング・フェスタ

7月8日



小麦作付収穫体験(うどん打ち)

7月22日



第11回夏休みこども村in木島平

7月24日～26日

第3四半期(10月～12月)



合併20周年記念 感謝の集い

10月3日～6日



第40回板橋農業まつり

11月11日～12日



第20回JA東京あおば農業祭

11月18日～19日

第4四半期(1月～3月)

JA青年組織手づくり看板全国コンクール
「JA全農賞」受賞

2月2日

平成29年度 JA東京あおば
教育文化活動セミナー

2月7日

第60回全国家の光大会 大泉地区女性部
全国都道府県大会代表発表

2月14日～15日



皐月展示共進会

5月17日



第20回通常総代会

6月27日



合併20周年記念
ニュージーランド北島満喫5日間旅行



夏休み親子料理教室

8月4日・10日



ふれあいの里夏まつり

8月5日



第18回ジャンボかぼちゃ大会

8月18日



世界記録達成／
第11回 練馬大根引っこ抜き競技大会

12月3日



第4回臨時総代会

12月15日



志村みの早生大根収穫体験

12月9日



合併20周年記念式典・祝賀会

2月20日



練馬こぶしハーフマラソン2018へ協力

3月25日



G A P 入門指導研修会

3月26日

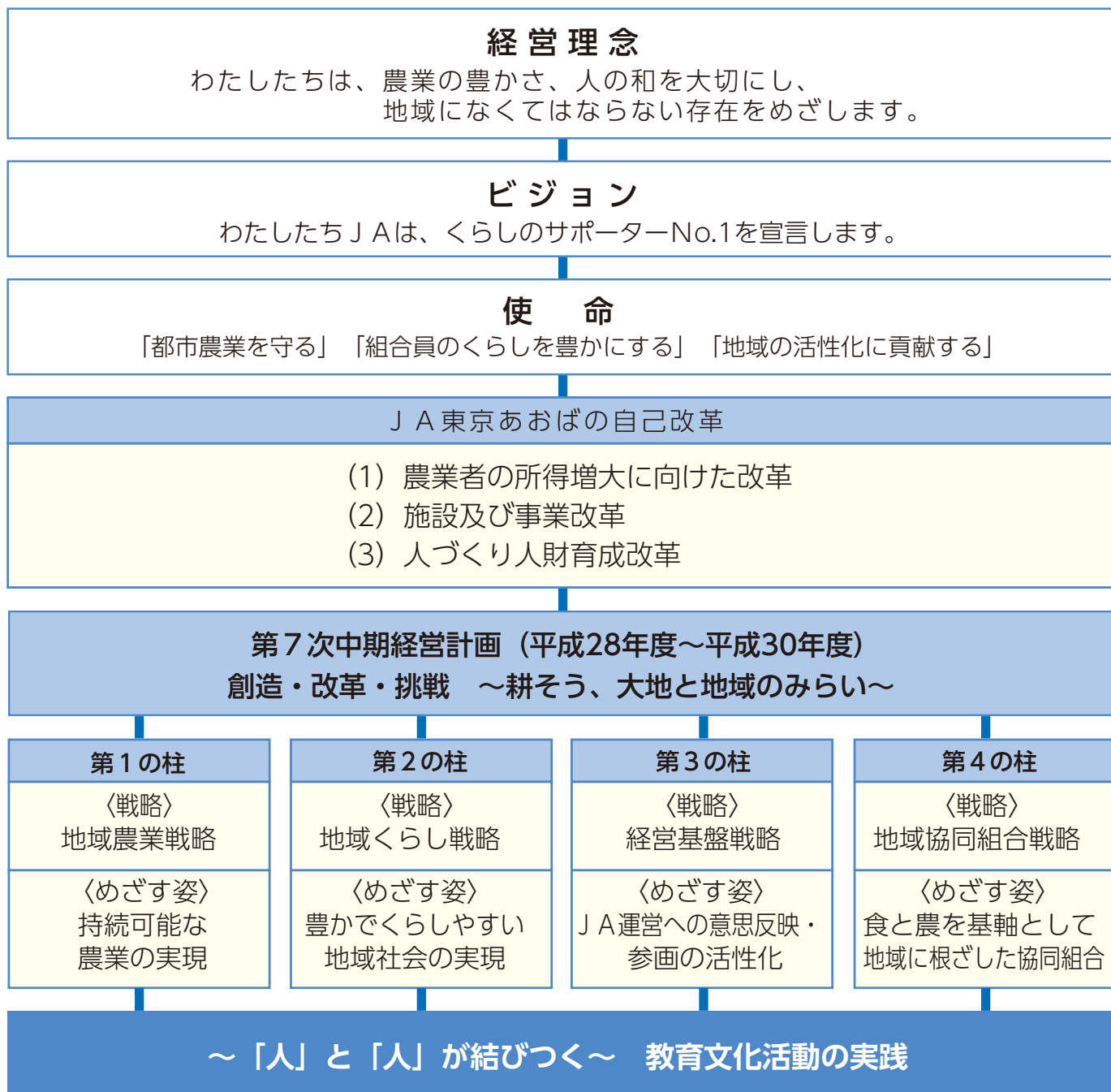
4 第7次中期経営計画(平成28年度～平成30年度)進捗報告

1. 第7次中期経営計画(平成28年度～平成30年度)について

第7次中期経営計画は、初の試みとして、策定協議会と策定プロジェクトを発足させ、青壮年部・女性部・若手職員から出された意見を集約し、「創造・改革・挑戦」を主題として、第19回通常総代会にてご承認をいただきました。

平成29年度は、同計画の2年目として、第7次中期経営計画の4つの戦略を基軸に「持続可能な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域社会の実現」「JA運営への意思反映・参画の活性化」「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」をめざす姿として、組合員の皆さまの参加・参画をいただきながら、実践に努めてまいりました。

2. 第7次中期経営計画体系図



3. J A東京あおばの自己改革(平成29年度進捗状況)

(1) 農業者の所得増大に向けた改革 農業者の所得増大に向けた、経済事業改革プロジェクト(仮称)、都市農業振興に向けた都市農業振興検討会議(仮称)等を設置し東京農業の発展に努めます。	検討中 農業者の所得増大については、各組織部会等で議論していますが、新規のプロジェクトや検討会議の立ち上げには至っていません。	平成30年度へ
(2) 施設及び事業改革 第1期支店再編計画(平成27年～平成31年3月末)の着実な実践ならびに第2期支店再編計画を策定します。	進行中 大泉支店建設委員会を3回開催し、また旧高島平支店・旧石神井公園支店の解体工事を開始し、第1期支店再編計画の実践に努めました。	
(3) 人づくり人財育成改革 「何かあったらすぐJ A」と頼りにされる職員教育を実践します。また、次代のJ A東京あおばの経営を担う若手の組合員を対象に組合員教育を実践します。	進行中 「職員ステップアップガイド2017」の職員への周知と運用を行い、平成30年度に向け改訂にも取り組みました。	

4. 第7次中期経営計画4つの戦略(柱)

第1の柱 「地域農業戦略」 めざす姿 持続可能な農業の実現 <重点取組事項> - I 農業者の所得増大に向けた取り組み - II 都市農業振興基本法成立・施行を踏まえた取り組み - III 組合員・都市農業を支えるJ Aの総合事業の拡充	第2の柱 「地域くらし戦略」 めざす姿 豊かでくらしやすい地域社会の実現 <重点取組事項> - I 地域の活性化に向けたJ Aの機能発揮 - II 組合員・地域のニーズを踏まえたJ A事業の実践 - III 循環型社会への取り組みの実践
第3の柱 「経営基盤戦略」 めざす姿 J A運営への意思反映・参画の活性化 <重点取組事項> - I 支店再編計画の実践 - II 組合員の意向を反映する・組合員が参画するJ A運営 - III 地域になくてはならないJ Aとして、さらなる健全経営の確立	第4の柱 「地域協同組合戦略」 めざす姿 食と農を基軸として地域に根ざした協同組合 <重点取組事項> - I 食と農を基軸に、地域とJ A、消費者と生産者を結ぶ架け橋 - II 地域協同組合運動の促進 - III 広報活動の活性化

第1の柱 地域農業戦略

持続可能な農業の実現に向けて

地場産農産物の魅力を伝える取り組み

J Aでは、地場産農産物の魅力を消費者に伝えるための取り組みを行っています。企業と協力した商品やオリジナルのP B (プライベートブランド) 商品を開発・販売することで、地場産農産物の知名度向上や地域ブランド化に貢献しています。

地域限定からあげクン おろしぽん酢味 「練馬大根ドレッシング」×ローソン

8月1日～ 14日の期間限定で、P B商品「練馬大根ドレッシング」を使った「地域限定からあげクン おろしぽん酢味」が販売され、話題を呼びました。辛みのある練馬大根と香りが豊かな東京産の醤油で味わい深いからあげに仕上がりました。



販売実績

40万食
(東京都内)

ランチパック 練馬産キャベツのコールスローサラダ 「ねり丸キャベツ」×山崎製パン(株)

12月1日～ 1月31日の期間限定で、野菜流通協議会が生産した「ねり丸キャベツ」を使った「ランチパック 練馬産キャベツのコールスローサラダ」が販売されました。シンプルなコールスローが具材で、キャベツのうま味と食感を楽しめる商品となりました。



販売実績

15万個
(関東近県)

平成29年度新たに販売したP B商品

江戸東京野菜福神漬



馬込半白キュウリ、
内藤トウガラシ、
雑司ヶ谷ナス、
練馬大根、
谷中ショウガ

東京家政大学と(株)新進
と産学連携。上品な甘さに
仕上がりました。

志村みの早生大根ドレッシング



志村みの早生大根

板橋区内で復活栽培
されて8年目。
まだまだ貴重な
江戸東京野菜「志
村みの早生大根」
を使った、ノンオ
イルドレッシング
です。

練馬のキャベツ焼売



練馬区産
キャベツ、
小麦粉

練馬区産のキャベツと小麦粉を使っています。
電子レンジで温めるだけで食べられます。

練馬大根みそ



練馬大根

練馬大根の角切りが
入ったにんにく風味
のやわらかい味噌で
す。野菜ディップや
温野菜のソースに
ピッタリです。

アグリスchoolの開催

若手・新規就農者向け営農学習会「アグリスchool」で、POP作成講習会を開催し、15組が参加しました。



野菜引換券プレゼント定期貯金の販売



実施回数 2回

平成29年 7月 3日～ 8月18日
平成29年11月20日～ 12月29日
取り扱い実績 1,808件(17億1,969万円)

都市農業への理解を深めるため、「野菜引換券プレゼント定期貯金」を販売しました。ご契約いただいた皆さまに、ご好評をいただきました。

資材価格等の引き下げ

配合肥料の推進価格を8種類値下げしました。

(春キャベツ配合、つぶつぶ配合、ハイパワー有機愛、グリンズ配合、ソサイ2号、野菜名人、追肥の達人、オールミックス763)

農業者が必要な資金のために

「JAバンク東京農業パワーアップ利子補給制度」の活用推進に努めました。

農業融資 15件(6,520万円)

練馬区独立70周年記念事業

「練馬を食べよう 農産物スタンプラリー」に協力

練馬区が行ったスタンプラリーに協力し、参加者300人分の景品として、地場産農産物とPB商品の詰め合わせをプレゼントし、都市農業の魅力をPRしました。



当選者より

野菜が高い時期なので助かりました。

各地区での即売会やイベントの開催

年間を通じて、各地区で即売会やイベントを開催しました。農産物の販売を行うだけでなく、地域の皆さまと生産者のふれあいの場として、来場される方に喜んでいただけるよう、各地区特色あふれる内容になっています。

イベント名称・会場		イベント名称・会場	
4月	とれたて村感謝祭(とれたて村石神井)	8月	ふれあいの里夏まつり(ふれあいの里)
	春の植木市(高島平噴水緑地広場)		こぐれ村夏まつり(こぐれ村)
	夏野菜苗の即売会(ふれあいの里)		秋の植木市(高島平噴水緑地広場・板橋区本庁舎)
	野菜苗の即売会(とれたて村石神井)	10月	お客様が選ぶ秋の農産物品評会(ふれあいの里)
	夏野菜苗・花・植木・野菜の即売会(こぐれ村)		とれたて村感謝祭(とれたて村石神井)
5月	母の日応援セール(ふれあいの里)		こぐれ村秋の収穫祭(こぐれ村)
	春の植木市(高島平噴水緑地広場)	11月	第20回JA東京あおば農業祭(光が丘公園けやき広場)
	さつきフェスティバル(板橋地区アグリセンター)		とれたて村石神井周年感謝祭(とれたて村石神井)
	皐月展示共進会(ふれあいの里)		シクラメン祭り(ふれあいの里)
	花・植木・野菜・赤飯の即売会(こぐれ村)		歳末感謝デー(練馬地区アグリセンター)
6月	こぐれ村夕市(こぐれ村)～7月まで	12月	歳末感謝セール(ふれあいの里)
	とれたて村感謝祭(とれたて村石神井)		年末即売会(こぐれ村)
	すず夏ちゃんまつり(板橋地区アグリセンター)		歳末感謝祭(とれたて村石神井)
	お客様が選ぶ夏の農産物品評会(ふれあいの里)		年末野菜即売会(板橋地区アグリセンター)
7月	こぐれ村夏の収穫祭(こぐれ村)	3月	春の感謝セール(ふれあいの里)
	とれたて村お盆感謝祭(とれたて村石神井)		



第2の柱 地域くらし戦略

豊かでくらしやすい
地域社会の実現に向けて

各地区で福祉貢献活動を展開

各地区女性部では、年間を通じて当日のプログラムや食事にも工夫を凝らしたミニデイサービスを実施しています。



地区名	開催回数	参加人数
板橋地区	1	17
練馬地区	3	66
石神井地区	2	108
大泉地区	2	85
計	8	276

被災地への義援金活動

役職員への呼びかけや、支店に募金箱を設置するなど、災害被災地への募金活動を継続して実施しました。

東日本大震災へ募金累計額
5,191,105円(平成23年から)

くらしの相談事業

くらしの相談員を中心に、組合員の相続・事業継承支援の充実を図りました。

相談活動	件数
相続税シミュレーション	11
相続相談	26
資産運用相談	43
年金相談	25
遺言信託(新規)	9

第3の柱 経営基盤戦略

J A 運営への意思反映・参画の
活性化に向けて

内部統制強化に向けた取り組み

改正農協法を受け、平成31年度からの公認会計士監査に対応するため、昨年度に引き続き監査法人の協力を仰ぎ、各部署と連携して課題に取り組みました。

取り組んだ課題

- ①事務リスク管理態勢の強化
- ②経済事業に関するマニュアル等の整備 等

支店再編計画の実践



支店再編に向け、大泉支店建設委員会を開催しました。また、旧高島平支店・旧石神井公園支店は、平成30年7月の解体完了に向けて工事を開始しました。にりん草は、仮店舗にて営業中です。

女性組織の活性化



新規加入
4人

女性組織協議会の役員会を定期的に開催し、料理教室やフラワーアレンジメント教室等、積極的に生活文化活動に取り組み、活発な活動を行いました。

青壮年組織の活性化



TOKYO
AOBA Youth



新規加入
4人

青壮年組織協議会の役員会を定期的に開催しました。また、J A 青壮年部便り「Tokyo Aoba Youth」も3,000部発行し、各地区で青壮年部の加入促進に活用しました。

第 4 の柱 地域協同組合戦略

食と農を基軸として地域に根ざした協同組合になるために

金融店舗でも農産物即売会開催



高松支店・田柄支店・平和台支店で各 1 回ずつ、組合員と職員が企画して地場産農産物の即売会を実施し、都市農業への理解を深め、地域の活性化に貢献しました。

また、全店舗で貯金デーに、花または野菜をプレゼントしました。

食と農の大切さ・都市農業の重要性を伝える場の提供

次代を担う子どもたちへ、食と農の大切さを伝えるため、社会科見学や職場体験の受入、農業に関する出前授業への協力を行っています。

食農教育の場	開催回数	参加人数
地域住民向け 料理教室	1 2	1 7 0
夏休み親子料理教室	2	1 9
職場体験受入	9	2 6
社会科見学受入	5	3 6 2
夏休みこども村	1	5 6
農業に関する出前授業	4	1 1 0



広報活動の強化

広報誌「あおば」の発行



広報委員会を開催し、都市農業の魅力や地域の情報を届ける企画内容で編集しました。

24,730部(年4回)を配布

地域住民向けコミュニティ誌の発行



11月中旬、第20回 J A 東京あおば農業祭への集客増加をめざし、今年度初めて発行しました。

18万部を新聞折込み

ホームページでの情報発信



イベント情報や活動報告ブログだけでなく、「自己改革」ならびに「第7次中期経営計画」の進捗報告についても更新しました。

訪問者数：83,352人

日本農業新聞通信員体制の強化



各地区アグリセンターの通信員からの出稿が増え、地域に密着した情報を提供することができました。

実績：115本掲載

農業者の所得増大に向けた改革プラン（工程表）

第31回 J A 東京大会 決議事項	平成28年度計画	平成28年度取組内容	平成29年度計画
1. 都市農業の特徴を活かした多様な販路による販売力強化			
(1) ファーマーズ マーケットを 拠点とする販 売力強化	「顔の見える農産物」を実現するため、「栽培くん」の稼働率を向上させます。振興渉外担当者・各部会の会議・研修会でも推進します。	「顔の見える農産物」を実現するため、振興渉外担当者・各部会の会議・研修会で「栽培くん」を推進し、稼働率を20%向上させました。	「顔の見える農産物」を実現するため、振興渉外担当者・各部会の会議・研修会で「栽培くん」を推進し、稼働率を50%以上向上させます。G A P（農業生産工程管理）の導入に向けて努力いたします。
	計画：新規登録者4人	実績：稼働率20%向上 新規登録者4人	計画：稼働率50%以上向上 新規登録者4人
	イベント回数を増やし、直売所のファンづくりに努めます。ごぐれ村の夕市のほか、他の5カ所でも特色あるイベント等販売の開催計画を進めます。ショップアドバイザーの意見を聴き、農産物の売り上げを伸ばすだけでなく、P B 商品やA コープ商品をいかにリピートしてご購入いただけるかにも力を注ぎます。	新たな取り組みとして貯金感謝デーに合わせた即売会の開催や、青壮年部と連携したマルシェの開催など、各地区で特色あるイベントを企画・開催しました。また、女性ならではの視点・感性を店舗運営に活かすため、各地区女性部の役員にショップアドバイザーを委託し、直売所で取り扱うA コープ商品の検討会を開催しました。	イベント回数を増やし、直売所のファンづくりに努めます。各地区直売所で、特色あるイベント等販売の開催計画を進めます。引き続きショップアドバイザーの意見を取り入れながら、農産物の売り上げを伸ばすだけでなく、P B 商品やA コープ商品の販売促進に努めます。
	計画：イベントを年4回開催	実績：イベントを年10回以上開催	計画：イベントを年10回以上開催
(2) 地域ブランド ・ 6 次産業化 ・ 特産品への 取り組み	地域ブランドについては、板橋区・練馬区や関係団体等と連携を図り、3年後を目途に開発できるよう取り組みます。また、P B 商品も引き続き開発します。	江戸東京野菜の志村みの早生大根を板橋の地域ブランド化に向け、作付計画会議を開催し安定した生産量の確保に取り組みしました。また、練馬区と連携し、キャベツの出荷箱に練馬区公式アニメキャラクターを起用するなど練馬産をアピールしました。P B 商品に関しては、東京家政大学・楠新進と「江戸東京野菜福神漬」の共同開発を進めました。	地域ブランドについて、行政や関係団体と協議しながら検討します。P B 商品については、「江戸東京野菜福神漬」の価格を決定し、販売出来るよう努めます。また、新しいP B 商品についても商品化をめざします。
	計画：行政との打合わせ年1回	実績：P B 商品2件開発中	計画：P B 商品の開発2件以上
(3) 学校給食等、 新たな販路の 拡大	マルシェの開催や生産者・流通関係者・市場関係者・スーパーマーケットのバイヤー等と話し合いを行います。	「ねりマルシェ」への参加、「どこでもマルシェ」の後援等、都市農業のP R、販路拡大に努めました。	地域の特性を活かしたマルシェ等の開催を後援し、参加を継続します。
	計画：打合わせ年2回	実績：マルシェ7回	計画：マルシェ10回以上
	学校給食等について、生産者・板橋区・練馬区と話し合いを行います。	練馬区と連携し、区の特産品であるキャベツと練馬大根の一斉給食を行いました。また、J A 東京中央会改革推進本部と連携し、新宿区・中野区の小学校・中学校に食材の提供を開始しました。	管内の学校給食について、生産者・板橋区・練馬区と話し合いを行います。また、J A 東京中央会との連携により、引き続き、小学校・中学校への給食食材を提供していきます。
	計画：打合わせ年1～2回	実績：11月より新宿区と中野区に給食食材提供	計画：食材提供2回以上
2. さらなる都市農業振興に向けた取り組み			
(1) 営農指導機能 の強化	組合員とのコミュニケーションを重視した現場に足を運び営農指導体制を構築します。「営農相談員」と「営農指導員」で生産者の要望に応える指導を行います。	「営農相談員」「営農指導員」を中心に生産者の要望に応えるため、コミュニケーションを重視した現場に足を運び営農指導体制の構築に努めました。今年度も、営農指導員研修に職員2人が参加し修了しました。	コミュニケーションを重視した現場に足を運び営農指導体制を構築します。「営農相談員」と「営農指導員」を中心に生産者の要望に応える指導を行います。
	計画：各センター1人増員	実績：営農指導員2人増員	計画：営農指導員研修に2人参加
(2) 未利用農地の 有効活用	未利用農地の実態調査を行います。そして、新たな農作業補助・代行事業を検討し、組合員に提案できる準備を進めます。	未利用農地の実態調査・農作業補助・代行事業について検討しました。	未利用農地の実態調査を行います。また、新たな農作業補助・代行事業を検討し、組合員に提案できる準備を進めます。
	計画：提案パンフレットの完成	検討開始	計画：未利用農地の実態調査
(3) 都市農業振興 に向けた農政 活動	国・東京都・板橋区・練馬区等行政とともに、安心して次代に農業を継げる社会・税制優遇を制度化できるよう国会議員への働きかけを強化します。	青壮年組織協議会の役員が議員を訪問し、働きかけを行いました。また、野菜流通協議会は練馬区長を表敬訪問し、「ねり丸キャベツ」についての取り組みを報告するなど、都市農業への理解を求めました。	国・東京都・板橋区・練馬区等行政とともに、安心して次代に農業を継げる社会・税制優遇を制度化できるよう国会議員への働きかけを強化します。
	計画：年4回訪問	実績：年4回訪問	計画：年4回以上訪問
3. 組合員・都市農業を支える J A の総合事業の拡充			
(1) 農業を支える 新たな仕組み づくり	「東京農業応援カー（仮称…軽トラ市等）」の運行や、「都市農業振興の応援団」としての准組合員の組織化など企画します。	※平成29年度以降取り組みます。	検討を開始し、企画書を作成します。
	計画：企画書2件	未実施	計画：企画書2件
4. 食料・農業・地域・J A の理解醸成に向けた取り組み			
(1) 多様な広報手 段を活用した 情報発信機能 の強化	ホームページ・広報誌・日本農業新聞・家の光をはじめ、グループ外のメディア等あらゆる媒体を通じて、積極的・継続的な情報発信を行います。	ホームページ上に「活動報告ブログ」「自己改革取り組み報告」のページを開設しました。また、日本農業新聞や広報誌を通じ、情報発信を行いました。	ホームページ・広報誌・日本農業新聞・家の光をはじめ、グループ外のメディア等あらゆる媒体を通じて、積極的・継続的な情報発信を行います。
	計画：日本農業新聞寄稿年90本	実績：日本農業新聞220本掲載、ホームページの内容充実	計画：日本農業新聞200本以上掲載
5. 豊かでくらしやすい地域づくり			
(1) J A からの 活動の積極的 な展開	教育文化活動を通じて、拠点支店(JA-village)が組合員ならびに地域の皆さまのコミュニティの場となるよう取り組みます。	平成28年度 J A 東京あおば教育文化活動セミナーで、長崎県立大学名誉教授・木村務氏による講演会と、女性部員による活動体験発表を行い、役職員の教育文化活動への理解を深めました。	教育文化活動を通じて、拠点支店(JA-village)が組合員ならびに地域の皆さまのコミュニティの場となるよう取り組みます。
	計画：活動回数年2回	実績：教育文化活動セミナーの開催1回	計画：教育文化活動セミナーの開催1回
6. 組合員とともに歩む組織づくり			
(1) 多様な組織基 盤強化に向け た取り組み	次代の地域農業及び J A 運動のリーダーを育成するため、各部会への若手農業者の加入を促進し、組織の活性化に取り組みます。	青壮年組織協議会では「アグリスクール（若手・新規就農者向け農学学習会）」を2回開催し、講習会や他 J A への視察研修を行いました。	次代の地域農業および J A 運動のリーダーを育成するため、各部会への若手農業者の加入を促進し、組織の活性化に取り組みます。
	計画：新規加入者4人	実績：新規加入者4人	計画：新規加入者4人

平成29年度取組内容	平成30年度計画
「栽培くん」の登録者が64人となり、稼働率は45.7%となりました。また、G A P 講習会を開催しました。	振興渉外担当者・各部会の会議研修で「栽培くん」を推進し、稼働率80%をめざします。また、G A P の導入に向けて努力いたします。
実績：稼働率45.7% 登録者総数64人	計画：登録者総数120人 稼働率80%以上／G A P 申請2人
魅力ある直売所運営のため、各直売所でイベントを実施し、提携 J A の特産品を販売しました。また、地域のイベント「石神井ビール祭り」や「赤塚梅まつり」などへ参加し、P B 商品などを販売しました。また、各地区女性部の役員22人がショップアドバイザーとして参加し、品揃えを充実させるため、直売所で取り扱う A コーポ商品品の検討会を開催しました。	イベント回数を増やし、直売所のファンづくりに努めます。各地区直売所で、特色あるイベントの開催計画を進めます。引き続きショップアドバイザーの意見を取り入れながら、農産物の売り上げを伸ばすだけでなく、P B 商品や A コーポ商品品の販売促進に努めます。
実績：イベントを年10回以上開催	計画：イベントを年15回以上開催
新たに4つのP B 商品「江戸東京野菜福神漬」「志村みの早生大根ドレッシング」「練馬のキャベツ焼売」「練馬大根みそ」を開発し販売しました。また、地域ブランド化商品の開発として、期間限定で、(株)ローソンから練馬大根ドレッシングを使用した「地域限定からあげクン おろしぼん酢味」を40万食と、練馬のキャベツ「ねり丸キャベツ」を使用した山崎製パン(株)の「ランチパック 練馬産キャベツのコールスローサラダ」を15万個販売しました。	地域ブランドについて、行政や関係団体と協議しながら検討します。また、新しいP B 商品についても開発・商品化をめざします。
実績：P B 商品開発・販売4件	計画：P B 商品の開発2件以上
「ねりマルシェ」、「ねりまde女子マルシェ」「どこでもマルシェ」、「SEIBU Green Marché」、「大泉ファーマーズマーケット」、「麦わらマルシェ」に、延べ14回参加しました。	地域の特性を活かしたマルシェ等の開催を後援し、参加を継続します。
実績：マルシェ14回参加	計画：マルシェ15回以上
練馬区と連携し、区の特産品であるキャベツと練馬大根の一斉給食を行いました。また、J A 東京中央会と連携し、新宿区・中野区・江東区の小学校・中学校に給食食材の提供を行いました。	管内の学校給食について、生産者・板橋区・練馬区と話し合いを行います。また、J A 東京中央会と連携し、引き続き、小学校・中学校への給食食材を提供していきます。
実績：練馬区内全校配布2回 新宿区・中野区・江東区の管外43校配布5回	計画：食材提供2回以上
「営農相談員」と「営農指導員」を中心に生産者の要望に応えるため、コミュニケーションを重視した現場に足を運び営農指導体制の構築に努めました。今年度も、営農指導員研修に職員1人が参加し修了しました。	コミュニケーションを重視した現場に足を運び営農指導体制を構築します。「営農相談員」と「営農指導員」を中心に生産者の要望に応える指導を行います。
実績：営農指導員1人増員	計画：営農指導員研修に2人参加
引き続き、未利用農地の実態調査に努め、また、農作業補助・代行として小麦や大麦を活用しました。	未利用農地の有効活用に向けて、新たな農作業補助・代行業者を、組合員に提案します。
調査中	計画：未利用農地の有効活用
板橋区・練馬区の両区議団に農政要望の提出を行いました。また、青壮年組織協議会の役員が衆議院議員を訪問し、農政活動を行いました。さらに、野菜流通協議会は練馬区長を表敬訪問し、「ねり丸キャベツ」についての取り組みを報告するなど、都市農業への理解を求めました。	国・東京都・板橋区・練馬区等行政とともに、安心して次代に農業を継げる社会・税制優遇を制度化できるように国会議員への働きかけを強化します。
実績：年4回訪問	計画：年6回以上訪問
※平成30年度に取り組みます。	農業を支える新たな仕組みづくりを構築します。
未実施	計画：東京農業応援力（仮称）運行回数3回
ホームページ・広報誌・日本農業新聞・家の光をはじめ、グループ外のメディア等あらゆる媒体を通じて、積極的・継続的な情報発信を行いました。日本農業新聞については、各地区アグリセンターからの出稿体制を強化し、地域に密着した情報を提供することができました。また、グループ外の取材依頼にも協力し、メディアへの露出が増えました。ホームページも積極的に更新し、訪問者数の増加につながりました。	ホームページ・広報誌・日本農業新聞・家の光をはじめ、グループ外のメディア等あらゆる媒体を通じて、積極的・継続的な情報発信を行います。
実績：日本農業新聞115本掲載、多数のTVメディア・雑誌等に出演	計画：日本農業新聞150本以上出稿
平成29年度 J A 東京あおば教育文化活動セミナーで、家の光講師・板野光雄氏による講演会を行い、役職員・青壮年組織協議会会員・女性組織協議会会員への理解を深めました。	教育文化活動を通じて、拠点支店(JA-village)が組合員ならびに地域の皆さまのコミュニティの場となるよう取り組みます。
実績：教育文化活動セミナーの開催1回	計画：教育文化活動セミナーの開催1回
青壮年組織協議会では「アグリスクール(若手・新規就農者向け営農学習会)」として、POP作成講習会を開催しました。次代の地域農業および J A 運動のリーダーを育成するため、各部会への若手農業者の加入を継続的に促進しました。	次代の地域農業および J A 運動のリーダーを育成するため、各部会への若手農業者の加入を促進し、組織の活性化に取り組みます。
実績：青壮年部 新規加入者4人	計画：新規加入者10人

都市農業を守るために・組合員のくらしを豊かにするために・地域の活性化に貢献するために	領域	(1) 教育・学習活動	(2) 組合員組織の育成活動
	内容	協同組合についての理解を深め、協同組合運動を発展させるための基礎的活動（組合員・役職員の教育・学習、次世代・女性組織などの協同組合学習）	組合員組織の育成と自主・自立的な組織づくりのための活動（女性組織、フレッシュミズ、青壮年組織、作目別、子ども、元気高齢者、地域の皆さまなど）
	活動全体	組合員の教育・学習 資産管理部会学習会 税務・法律講習会 法律無料相談、税務無料相談 職員の教育・学習 各種資格取得への挑戦 次世代の協同組合学習 野菜ウォークラリーへの協力 江戸東京野菜普及運動 女性組織 被災地の復興支援活動 視察研修 活動体験発表の実践 青壮年組織 農政講習会 衆議院議員との農政意見交換会 ポリシーブックの実践に向けた学習会 組合員・役職員 J A 東京あおば教育文化活動セミナー	女性組織 ……女性組織協議会 女性組織リーダーセミナー・家の光大会への参加（最優秀賞受賞・全国大会へ） フレッシュミズによる部員加入促進 青壮年組織 ……青壮年組織協議会 アグリスクール（1回） 援農ボランティア養成講習会 東京都エコ農産物認証制度利用 認定農業者・都市型認定農業者交流会 農機安全講習会 部員加入促進運動 婚活交流会実施（2回） 各作目別・組織など 役員会・研修会 視察研修 元気高齢者 年金無料相談会 直売所友の会 地場産農産物料理教室12回（170人）
	単地区	次世代の協同組合学習 小学校社会科見学受入5校（362人） 小学生・中学生職場体験受入9校（26人） 女性組織の協同組合学習 各地区即売会 こぐれ村夏まつり・夕市・収穫祭 江戸東京野菜料理教室 青壮年組織・女性組織 提携 J A との人的交流・意見交換 リーダーセミナー活動実績発表	女性組織 女性部文化展 即売会への田舎まんじゅう・赤飯等の出店 すずしろ汁の提供 ちょきんぎょ祭り フレッシュミズとの交流会 フレッシュミズ活動推進 各作目別・組織など 役員会・研修会
	支店等	職員の教育・学習 農協改革の学習会	組合員・役職員が一体となったイベント 七夕まつり 盆踊り 親睦会 バーベキュー大会 ボウリング大会
	活動主体	青壮年部・女性部・役職員・地域住民・	

教育文化活動の主な取り組み

(3) 生活文化活動	(4) 情報・広報活動	社会的貢献活動
組合員・地域の皆さまの願いや期待を実現するための活動（食農教育関連、健康・福祉、趣味、生きがいづくり、スポーツ、環境保全など多彩な活動）	ＪＡの事業・活動、農業情勢や組合員・地域の皆さまの求める情報を提供し、農業・ＪＡへの理解を求める活動	
食農教育関連 第11回夏休みこども村in木島平 「家の光クッキング・フェスタ 旬の地場産大集合！」開催 料理教室での地場産農産物使用 親子料理教室開催2回(19人) 学校給食への地場産農産物提供 学校への営農指導員による出前授業(4回) 小麦作付収穫体験(うどんの試食まで) 果樹体験(剪定・防除・収穫まで) 行政・関係団体・企業への協力 練馬大根育成事業(漬物事業組合)への協力 板橋区食育月間への協力 中学生「朝ごはんコンクール」への協力 健康・福祉 人間ドックへの助成 ミニデイサービス8回(276人) 趣味・生きがいづくり 感謝の集い(有名歌手コンサート) 料理教室(女性部・地域住民) 年金友の会レクリエーション バス旅くらぶによる日帰り旅行	地域との共生 第20回ＪＡ東京あおば農業祭 第11回練馬大根引っこ抜き競技大会 練馬大根で世界記録[同時に大根を抜いた最多人数]492人達成 地場産農産物のＰＲ ＪＡ東京あおばＰＢ商品開発・販売 行政・関係団体・企業への協力 第40回板橋農業まつり 第46回東京都農業祭 東京味わいフェスタ2017 第17回東京農業フェア 第40回練馬まつり・産業見本市 ねりマルシェ 西武鉄道(株)主催のマルシェ等3回 地域の防災訓練や高齢者施設等への野菜提供10回 広報活動 ホームページでの情報開示 広報誌あおば発刊 地域住民向けコミュニティ誌発行 ＪＡ東京あおばレポート発刊 ディスクロージャー誌発刊 半期開示レポート発刊 青壮年組織 デコトラパレード(東京都農業祭)	
健康・福祉 ミニデイサービス(8回) 健康体操教室 老人ホーム・高齢者福祉施設等慰問 趣味・生きがいづくり サークル活動(手芸・陶芸・文化展) 年金友の会レクリエーション 営農指導員の園芸相談 寄せ植え教室 スポーツ ゴルフ親睦会 ハイキング	農業・ＪＡへの理解を求める活動 ふれあいの里夏まつり こぐれ村夏まつり・夕市・収穫祭 各地区即売会 マルシェの開催 練馬区役所での野菜パネル展示 高齢者施設・総合病院への野菜提供 広報活動 活動報告ブログでの取り組み報告 日本農業新聞への記事出稿	
趣味・生きがいづくり 敬老会への参加 スポーツ ゴルフ親睦会 ハイキング	都市農業への理解醸成 第18回ジャンボかぼちゃ大会 地場産農産物の即売会・マルシェの開催	

- ・地域安全パトロールへの協力
- ・板橋区資源環境審議会／練馬区環境審議会への参加
- ・練馬区地球温暖化対策地域協議会への参加
- ・東日本大震災・熊本地震等への復興支援
- ・地元行事・祭りへの参加
- ・交通安全運動への協力
- ・練馬こぶしハーフマラソンへの協力
- ・練馬区サンクスマッチへの協力

次世代・高齢者・支部・親睦会・産業・行政・学校

5 平成30年度 基本方針

平成30年度は、第7次中期経営計画（平成28年度～平成30年度）の最終年度です。ＪＡ東京あおばの自己改革の実現に向け、4つの戦略「地域農業戦略」「地域くらし戦略」「経営基盤戦略」「地域協同組合戦略」に基づき、地域になくてはならないＪＡをめざし、平成31年度からの第8次中期経営計画につながるよう、各事業を展開してまいります。

また、透明性の高い経営と健全性の確保に努めるために、内部統制・コンプライアンス態勢の一層の強化を図り、都市農業を守り、組合員のくらしを豊かにし、地域の活性化に貢献する協同組合の維持・発展に努めてまいります。

ＪＡ東京あおばの自己改革

(1) 農業者の所得増大に向けた改革

組合員との徹底的な話し合いを通じ、第7次中期経営計画を基軸に、経済事業改革プロジェクト（仮称）、都市農業振興に向けた都市農業振興検討会議（仮称）を設置し、持続可能な都市農業の発展に努めます。

(2) 施設及び事業改革

第1期支店再編計画（平成27年～平成31年3月末）を進めます。

- ① 大泉支店建設委員会を運営します。
- ② 中村橋支店・豊玉支店の統合については、中村橋支店を建て替えて統合することを基本とした計画を進めます。関町支店については、移転新築を基本とした計画を進めます。

(3) 人づくり人財育成改革

専門性の高い職員を育てるため、

- ① 人事ローテーションの見直し・職員配置整備
- ② 考課者研修や「職員ステップUPガイド2018」の運用を継続し、「何かあったらすぐＪＡ」と頼りにされる職員の育成に努めます。

安心して働ける職場風土を構築するため、職員同士のコミュニケーションを大切にし、組合員ならびに地域との交流を広げます。

教育文化活動の実践

組合員の皆さまとわたしたち役職員がともに歩むＪＡ東京あおばをめざし、ＪＡ東京あおば教育文化活動を組合員の参加・参画のもと実践します。

内部統制の強化

- (1) 内部統制を整備します。
- (2) 内部統制の有効性発揮に向けた内部監査を強化します。
- (3) 個人情報取り扱いを厳格化し、適正な情報処理を行える態勢を構築します。
- (4) 利用者保護にかかる適正な事務処理を行える態勢を構築します。

財務基盤強化

新たな自己資本規制（バーゼルⅢ）のもとでも現状の自己資本比率水準が保てる財務基盤を確立するため、自己資本の充実を図ります。

J A東京あおばは、組合員・利用者の皆さまのさまざまなニーズや相談にお応えするために、人財育成プログラムの一環として各種資格取得を奨励しています。

こちらに表記しているものは資格試験の名称です。平成30年3月31日現在保有人数累計(子会社含む)

()は、平成29年度取得人数

農業協同組合監査士..... 7人 (1)
 中小企業診断士..... 1人
 社会保険労務士..... 2人
 CFP・1級 F P 技能士..... 1人
 AFP・2級 F P 技能士..... 63人 (7)
 DCプランナー 2級(企業年金)..... 2人

宅地建物取引士(旧宅地建物取引主任者) 56人 (4)
 不動産コンサルティングマスター..... 6人 (1)
 賃貸不動産経営管理士..... 12人
 行政書士..... 3人
 総合旅行業務取扱管理者..... 4人 (1)
 国内旅行業務取扱管理者..... 6人
 内部管理責任者(証券外務員)..... 166人 (22)
 1種証券外務員..... 263人 (15)
 2種証券外務員..... 57人 (11)
 損害保険募集人..... 180人 (12)
 遺言信託(信託業務)..... 133人 (5)
 個人情報取扱主任者..... 70人 (7)

野菜ソムリエ..... 6人 (1)
 日本農業検定1級..... 12人 (6)
 日本農業検定2級..... 99人 (26)
 日本農業検定3級..... 74人 (39)
 ホームヘルパー 2級... 13人
 ホームヘルパー 3級... 4人
 毒物劇物取扱者..... 36人 (6)
 安全衛生管理者..... 5人 (1)

J A職員資格認証

農業協同組合内部監査士 36人 (6)
 営農指導員..... 34人 (1)
 上級..... 226人 (22)
 中級..... 60人 (6)
 初級..... 51人 (18)

※ J A職員資格認証とは、職員の資質及び技術の向上を図り、J Aの社会的使命を全うする人材を養成することを基本理念とした J A系統の内部試験です。

J A綱領 - わたしたち J Aのめざすもの -

わたしたち J Aの組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則(自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等)に基づき行動します。そして、地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは

1. 地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
1. 環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
1. J Aへの積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
1. 自主・自立と民主的運営の基本に立ち、J Aを健全に経営し信頼を高めよう。
1. 協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。

(1997 年 第 21 回 J A全国大会決議)

店舗のご案内

東京あおば農業協同組合

●〒179-0075 東京都練馬区高松 5 丁目 23 番 27 号

総務部 TEL 03-5372-1311
FAX 03-5372-0374

人事部 TEL 03-5372-1377
FAX 03-5372-1382

経営企画部 TEL 03-5372-1312
FAX 03-5372-0374

信用部 TEL 03-5372-1314
FAX 03-5372-0379

審査部 TEL 03-5372-1332
FAX 03-5372-1131

監査室 TEL 03-5372-1333
FAX 03-5372-1382

リスク管理室 TEL 03-5372-1378
FAX 03-5372-1382

旅行センター TEL 03-5372-1318
FAX 03-5372-1131

資産管理課 TEL 03-5372-1367
(信用部くらしの相談課内) FAX 03-5372-0379

●〒177-0041 東京都練馬区石神井町 5-11-7

共済部 TEL 03-5372-1315
FAX 03-5372-0376

地域振興部 TEL 03-5910-3066
FAX 03-3995-5535

板橋地区

- 赤塚支店 (板橋地区拠点支店) 〒175-0084 板橋区四葉 2-8-3
TEL.03-3930-0115 FAX.03-3930-0804
- 板橋支店 〒174-0076 板橋区上板橋 2-18-14
TEL.03-3932-1131 FAX.03-3559-5471
- 板橋地区
アグリセンター 〒175-0084 板橋区四葉 2-8-3
TEL.03-3930-0186 FAX.03-3930-0225
- ファーマーズショップ
にりん草 (仮店舗) 〒175-0082 板橋区高島平 3-12-17
TEL.03-3975-2189 FAX.03-3975-3263

石神井地区

- 石神井支店 (石神井地区拠点支店) 〒177-0041 練馬区石神井町 5-11-7
TEL.03-3995-4121 FAX.03-3995-3355
- 関町支店 〒177-0051 練馬区関町北 1-22-11
TEL.03-3920-4128 FAX.03-3920-9497
- 富士見台支店 〒177-0035 練馬区南田中 3-1-1
TEL.03-3995-4191 FAX.03-3904-0801
- 石神井地区
アグリセンター 〒177-0041 練馬区石神井町 5-11-7
TEL.03-3995-4955 FAX.03-3995-4128
- とれたて村石神井 〒177-0041 練馬区石神井町 5-11-7
TEL.03-3995-3132

練馬地区

- 練馬春日町支店 (練馬地区拠点支店) 〒179-0074 練馬区春日町 1-17-34
TEL.03-3999-1451 FAX.03-3577-0155
- 中村橋支店 〒176-0023 練馬区中村北 3-11-6
TEL.03-3999-1611 FAX.03-3577-0133
- 桜台支店 〒176-0002 練馬区桜台 3-35-17
TEL.03-3992-6188 FAX.03-3948-0259
- 高松支店 〒179-0075 練馬区高松 6-34-1
TEL.03-3997-5231 FAX.03-3996-0656
- 田柄支店 〒179-0073 練馬区田柄 2-20-10
TEL.03-3939-0021 FAX.03-3976-9763
- 豊玉支店 〒176-0012 練馬区豊玉北 4-7-6
TEL.03-3994-2911 FAX.03-3557-2913
- 平和台支店 〒179-0083 練馬区平和台 3-25-20
TEL.03-3937-0881 FAX.03-3937-0599
- 練馬地区
アグリセンター 〒179-0074 練馬区春日町 1-17-34
TEL.03-3999-7851 FAX.03-3999-7861
- 総合園芸センター
ふれあいの里 〒176-0002 練馬区桜台 3-35-18
TEL.03-3991-8711 FAX.03-3991-8726

大泉地区

- 大泉支店 (大泉地区拠点支店) 〒178-0061 練馬区大泉学園町 2-12-17
TEL.03-3925-3111 FAX.03-3925-3239
- 東大泉支店 〒178-0063 練馬区東大泉 1-28-1 リズム大泉学園
TEL.03-3925-3211 FAX.03-3925-3270
- 西大泉支店 〒178-0065 練馬区西大泉 4-9-1
TEL.03-3978-1711 FAX.03-3978-1713
- 大泉地区
アグリセンター 〒178-0061 練馬区大泉学園町 2-12-17
TEL.03-3925-3112 FAX.03-3925-3178
- ファーマーズショップ
こぐれ村 〒178-0061 練馬区大泉学園町 2-12-17
TEL.03-3925-3113

東京協同サービス(株)

- 東京協同サービス(株)
本店 〒179-0085 練馬区早宮 2-17-50 平和台 ST ビルⅡ3F
TEL.03-5921-5081 FAX.03-3932-1825
- 東京協同サービス(株)
平和台支店 〒179-0085 練馬区早宮 2-17-50 平和台 ST ビルⅡ1F
TEL.03-3931-6051 FAX.03-3931-6068
- 東京協同サービス(株)
石神井大泉支店 〒178-0063 練馬区東大泉 1-33-2 ビュー大泉学園
TEL.03-3925-3114 FAX.03-3925-3235

※拠点支店とは、組合員のさまざまなニーズにお応えできる機能を備えた店舗のことです。拠点支店を中心に教育文化活動を実践し、用事がなくても足を運びたい地域コミュニティの場を創造します。

J A 東京あおばは、組合員・利用者皆さまの声を誠実に受け止めます。

J A 東京あおばでは、組合員・利用者皆さまにご満足いただけますよう日頃から心がけておりますが、当 J A の事業・活動について、ご意見ご要望等がございましたら、下記の窓口にて受け付けておりますので、お気軽にお申し出ください。

まずは、当 J A の最寄りの店舗もしくは本店経営企画部経営企画課までお申し出ください。

経営企画部 経営企画課 TEL.03-5372-1312

当 J A に関する情報はこちらの
ホームページでご覧になれます。

受付時間

月～金曜日(土日祝日を除く)
午前9時～午後5時

検索

J A 東京あおば



<http://www.ja-tokyoaoba.or.jp/>